

大正五年四月六日第三種郵便物認可

大正七年七月二十七日印刷納本（毎月一回一日發行）



# 哲學研究

第參卷 第八册

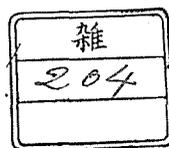
第二十九號

大正七年八月一日發行

高次の對象……………	文學士	中川得立
呪術に於ける合理性の意識……………	文學士	宇野圓空
シュタムラーの社會哲學……………	文學博士	藤井健治郎
心理學と客觀的方法(承前)……………	文學士	檜崎淺太郎
ゾルケムの訃及び其社會學的研究……………	文學士	銅直勇
新著紹介……………		

京師帝國大學文學科大學內

京都哲學會



# 京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究會ヲ開ク

一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓八拾錢、前後二期ニ分チテ前納ス

ベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

# 京都哲學會役員

## 委員

## 書記

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學士	植田壽藏
文學士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
寶嚴方治	

その他本篇と吠陀との關係、クリシュナとアルジュナとの尊號、本篇内容の分類説述等、讀者に對し頗る親切なものである事は之を忘れてはならぬ。

最後に私は將來益々多く是の如き有益なる事業がわが學界のためには權威ある博士の力によりて成し遂げられん事を御願する次第である。

譯本の内容——凡例——序——(一)大史詩「マハーベータ」に於ける聖婆伽梵歌——(二)聖婆伽梵歌の用語——(三)聖婆伽梵歌の内容——(初)倫理篇(王者の使命)——(中)神理篇(天意の所在)——(終)心理篇(自覺の原理)——本書三篇十八章七百頌邦譯。(注意——別に「梵文婆伽梵歌」別冊として公行せらる——定價六十錢)。

發行所東京丙午出版社、三六版二一五頁、定價壹圓(本田義英)

### 寄贈書籍雜誌

- 聖婆伽梵歌 文學博士 高楠順次郎譯 丙午出版社
- カニ實踐理性批判 文學博士 波多野精一 共譯 岩波書店
- 日本基督教史 下 文學士 宮本 和吉 譯
- 哲學雜誌、思潮、丁酉倫理講演集、心理研究、六合雜誌、東洋哲學、東亞之光、無盡燈、早稻田文學、學校教育、教育、普通教育、内外教育評論、教育研究、教育界、教育時論、東京教育、兵庫教育、京都教育、愛知教育雜誌、宮城教育、靜岡縣教育、奈良縣教育、滋賀縣教育、岐阜縣教育、三重縣教育、都布教育、信濃教育、佐賀縣教育、山形縣教育、秋田縣教育雜誌、第三帝國

### 前 號 目 次

心情の無限	文學士 西 晋 一 郎
感情	文學博士 西田幾多郎
司馬遷の經學	文學博士 狩 野 直 喜
心理學と客觀的方法	文學士 榑崎淺太郎
識別作用の非相稱性に關する實驗的研究(承前)	文學士 千葉胤成
彙報——新著紹介	

會

告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候

一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會  
 文科大學內 振替口座大阪參〇六六參番

定價

冊數	定價	郵稅
一冊	金貳拾五錢	壹錢
六冊(前金)	金壹圓五拾錢	一不申
十二冊(前金)	金參圓一不申	受

廣告料

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

註文規

- ◎會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- ◎振替貯金にて御送金は(會東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- ◎前金切れの場合に「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御拂込下され度候
- ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正七年七月二十七日印刷納本  
 大正七年 八月一日發 行  
 第二十九號 第八卷

編輯者 京都帝國大學文科大學內

右代表者 寶嚴方治

發行者 大葉久吉

印刷者 青柳十一郎

印刷所 秀英舎第一工場



發行所 東京日本橋區本石町三丁目 寶文館  
 (振替口座東京二八〇番)

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目 寶文館  
 大阪市東區淡路町四丁目

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館  
 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

米澤高等工業學校教授

櫻井寅之助著

新刊

# 歐米野鳥語

布裝全一冊
定價壹圓八拾錢
送料金拾貳錢

最近歐米を歴遊せる櫻井教授の視察せられたる歐米に於ける諸方面の雑感は本書に詳叙せられて餘蘊なし!!

本書は東京高等師範學校に理化、東京帝國大學に化學を學び、母校幹事及び米澤高等工業學校教頭として盛名ありし櫻井教授が、最近歐米に遊學し、或は歐洲各國の緊張せる奮闘の現狀を視、從來の教育並に民俗の長短を察し又孜々として戦後の經營に没頭せる實況を目撃して、存外二ヶ年親しく視察せられたる諸方面の事實を叙し、謹厚又洒脫、時には鋭雋の批評を加へ、時には堂々の經綸を説き、而も行文極めて流麗、眞に快讀一過すべからしむ。されば教育者と非教育者との論なく、將た男女老若、朝野貴賤の別なく、讀んで面白く亦益する所多かるべく、眞に通讀卷を蔽ふ能はざる快著とは是なり。切に一本の備付を薦む。

哲學研究

第二十九號

第三卷 第八册

大正七年(每月一回) 八月二日發行(一日發行)

(大正五年四月六日) (第三種郵便物認可)

定價金貳拾五錢

東京日本橋區本石町 寶文館 大坂市東區淡路番 町